

食虫植物の育て方 1

食虫植物とは

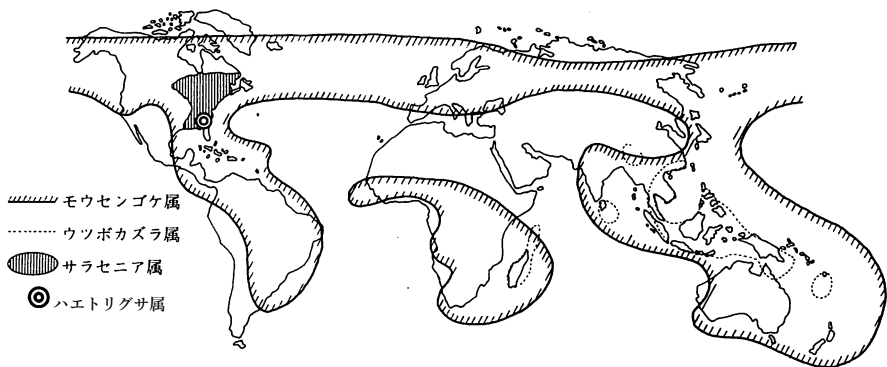
昆虫を捕えて消化・吸収し、栄養とする性質をもつ植物の総称で、獲物には昆虫以外の小動物も含まれるため、肉食植物とも言われています。

12科19属、600種余りが含まれるとされています。

主な種類

- | | | |
|---------|---|-------------------------------|
| モウセンゴケ科 | — | モウセンゴケ属……………モウセンゴケ、イシモチソウなど |
| | — | ムジナモ属……………ムジナモ |
| | — | ハエトリグサ属……………ハエトリグサ |
| タヌキモ科 | — | タヌキモ属……………タヌキモ、ミミカキグサなど |
| | — | ムシトリスミレ属……………ムシトリスミレ、コウシンソウなど |
| ウツボカズラ科 | — | ウツボカズラ属……………ウツボカズラ |
| サラセニア科 | — | ダーリングトニア属……………ダーリングトニア |
| | — | サラセニア属……………サラセニア |

分 布

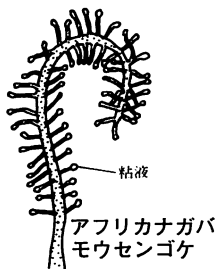


捕虫方法

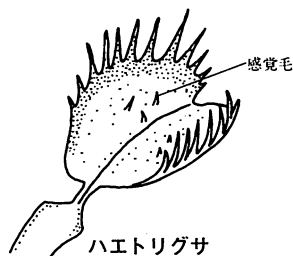
鳥もち式

わな式

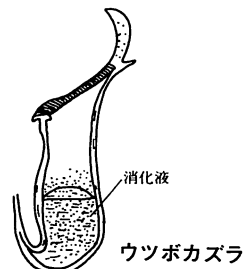
落とし穴式



粘り気のある液でひっつける、モウセンゴケ



運動によって捕える
ハエトリグサ、ムジナモ



蜜で誘って穴に落す
ウツボカズラ
サラセニア



青森市植物公園

食虫植物の育て方 2

モウセンゴケ類

植込時期

3月頃が最もよい時期ですが、注意して扱えば6月下旬でもかまいません。

植え方

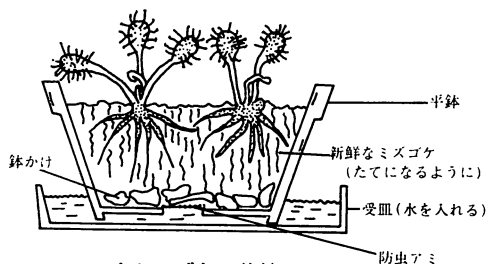
新鮮なミズゴケを縦にそろえて、軟らかめに植えます。(図参照)

管理

日当りのよい場所に、受皿に水を入れて置きます(腰水法)。肥料は与えません。

ふやし方

実生 熟した種子をミズゴケに取播き。
葉ざし 4～5月に元気な葉をミズゴケにさす。(図参照)



モウセンゴケの栽培

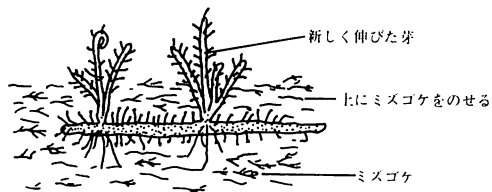
サラセニア類

植え方と時期

芽が動く前の2月頃、素焼鉢にミズゴケ植えにします。植え方は、モウセンゴケに準じます。

管理

腰水をし日当りの良い風の当たらないところで育てます。肥料は与えません。冬の寒さには強いが、乾燥させないように注意。



モウセンゴケの葉ざし

ハエトリグサ (ハエジゴク)

植え方と時期

2～3月中旬、素焼鉢に生きたミズゴケを用い、モウセンゴケと同じ要領で植えます。

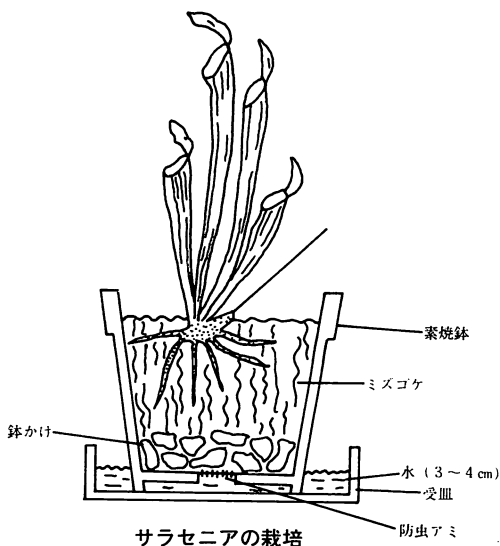
管理

日光に充分当て(ただし、真夏は日除けをする)毎日灌水を行う(腰水にはしない)。冬は、乾燥させないようにし無加温のフレームかビニール室に入れる。

無肥料栽培とします。

ふやし方

株分け 2～3月中旬の植え替え時に、基部(茎)が欠けないように分けます。



サラセニアの栽培

